

## 教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成

【進んで学び深く考える子ども／心やさしく思いやりのある子ども／心身ともにたくましい子ども】

### 学校経営方針

- (1) 児童が生き生きと活動し、笑顔と元気なあいさつがあふれる楽しい学校を実現する。
- (2) 児童に主体的に考えさせながら、身に付けた知識を活用して課題を解決する授業を行い、確かな学力を身に付ける。
- (3) コミュニティ・スクールのよさを生かし、保護者・地域の方々と連携した教育活動を展開するとともに地域人材及び文化財を生かした郷土学習を推進する。
- (4) 事故や不祥事を防止し、児童・教職員が心身共に健康で、安心・安全に過ごせる環境を整える。

#### 川崎小の子どものよさ

- きまりを守り素直な気持ちで、明るく生活できている。
- めあてに向かって、こつこつと努力する子が多い。
- 下の学年の面倒をきちんとみる子が多い。
- 友達に進んでやさしくできる子が多い。

#### 目指す子ども像

- 学び方や考え方を身に付け、向上を目指して努力を継続する子ども
- 誰に対してもやさしくし、いつも元気にあいさつをする子ども
- 健康な体のために、進んで運動し、衛生的で規則正しい生活をする子ども

#### 川崎小の子どもの課題

- 学習中、進んで考えを発表して、交流することが少ない傾向がある。
- 時と場に応じた言葉遣いや行動がとれない傾向が見られる。
- 規則正しい生活リズムが習慣化されていない傾向が見られる。

### 進んで学び深く考える子どもを育てるために

- ① 児童の疑問から学習課題を作り、解決に向かって主体的に考える授業を実践する。
- ② タブレット端末の活用や考えの筋道が分かるノート作りを工夫し、思考力及び表現力を養う。
- ③ 授業や朝の時間に基礎的・基本的な内容を繰り返し復習し、確実に習得させる。
- ④ 家庭や地域の方の協力を得て学習の充実を図り、自ら学びに向かう資質を育てる。

### 心やさしく思いやりのある子どもを育てるために

- ① コミュニケーションの基本として、あいさつや返事、場に応じた言葉遣いができるようにする。
- ② 道徳科や学級活動の授業を中核として、差別や偏見等について考えるとともに、地域の人・もの・ことに触れる体験的活動の充実を図り、人権意識や思いやりの心を育てる。
- ③ 学校図書館の活用を工夫すると共に、読書タイムや読み聞かせ・家族読書・読書貯金通帳の活用をおして読書に親しませ、豊かな心やものの見方・考え方を育てる。
- ④ 学校運営協議会のグループディスカッションを生かして、地域の素材や人材を活用した郷土教育を推進し、ふるさとを大切に作る心を育てる。

### 心身ともにたくましい子どもを育てるために

- ① 体育科で運動身体づくりプログラムを継続的に実施するとともに、体力もりもりカードを活用して、年間を通して休み時間の外遊び・マラソン・縄跳び等を奨励し、体力を向上させる。
- ② 新型コロナウイルスやインフルエンザ等の病気のしくみを知ることとおして、自分の健康に関心を持ち、予防のために手洗い・うがいなどを正しく実践できるようにする。
- ③ 中学校や家庭と連携しながら「メディアコントロール」を推進するとともに「家庭学習カード」及び「元気はなまるシート」を活用して、学習や生活のリズムを整える。
- ④ P T Aや地域の方々と連携し、登下校や校外生活での事故防止に努め、安全・安心な学校を実現する。